

万石橋まんごくぼしに「道路メンテナンス技術集団」を派遣
～「秋田県初」地方公共団体管理橋梁で直轄診断を実施～

道路の老朽化対策に関しては、多くの施設を管理している地方公共団体に対して、財政面、技術面等でこれまで以上の支援が求められています。

そこで、国土交通省では、地方公共団体への支援策の一つとして、点検等に際して緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い施設について、直轄診断※を実施しています。

東北地方整備局では、秋田県湯沢市管理の万石橋において、下記のとおり道路メンテナンス技術集団による直轄診断の現地作業を開始しますので、お知らせします。

■日 時：平成28年10月28日（金）11：00～（現地は13：00～）

■場 所：万石橋まんごくぼし（橋長171m）
秋田県湯沢市しもいんないあさおちあい下院内字落合

■当日の流れ：

11：00～11：30（予定）湯沢市役所にて診断方法等の説明等
道路メンテナンス技術集団：

東北地方整備局 道路部 道路保全企画官 山口 満 他

13：00～14：00（予定）現地（万石橋）にて直轄診断
作業内容：高所作業車等を用いた近接目視による調査

14：00～14：15（予定）現地にて湯沢市長へ当日の作業報告

〔添付資料〕

直轄診断（※）・・・・・・・・・・・・・・・・・・【別紙1】

万石橋の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・【別紙2】

市道馬場・小町線（万石橋）の路線の位置づけ・・・・・・・・【別紙3】

《発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、秋田県政記者会、
横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局》

＜問い合わせ先＞

○：主な問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 TEL022-225-2171(代表)

○ 道路部 道路保全企画官 やまぐち 山口 みつる 満 （内線4121）

湯沢河川国道事務所 TEL0183-73-3174(代表)

副所長(道路) まつい 松井 ゆきお 幸男(内線205)

【 ※直轄診断】

「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの（複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等）に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うもの。

また、直轄診断の成果については、データの蓄積、研修等により東北地方整備局職員の技術力向上に活用していく。

【道路メンテナンス技術集団メンバー】

東北地方整備局道路部道路保全企画官(リーダー)

同 道路管理課道路構造保全官

同 湯沢河川国道事務所所長

同 副所長

同 東北技術事務所副所長

同 維持管理技術課長

国土技術政策総合研究所道路構造物研究部橋梁研究室室長

同 主任研究官

国立研究開発法人土木研究所構造物メンテナンス研究センター

橋梁構造研究グループ上席研究員

まんこくばし 万石橋の概要

【別紙2】

【位置図】



【正面】



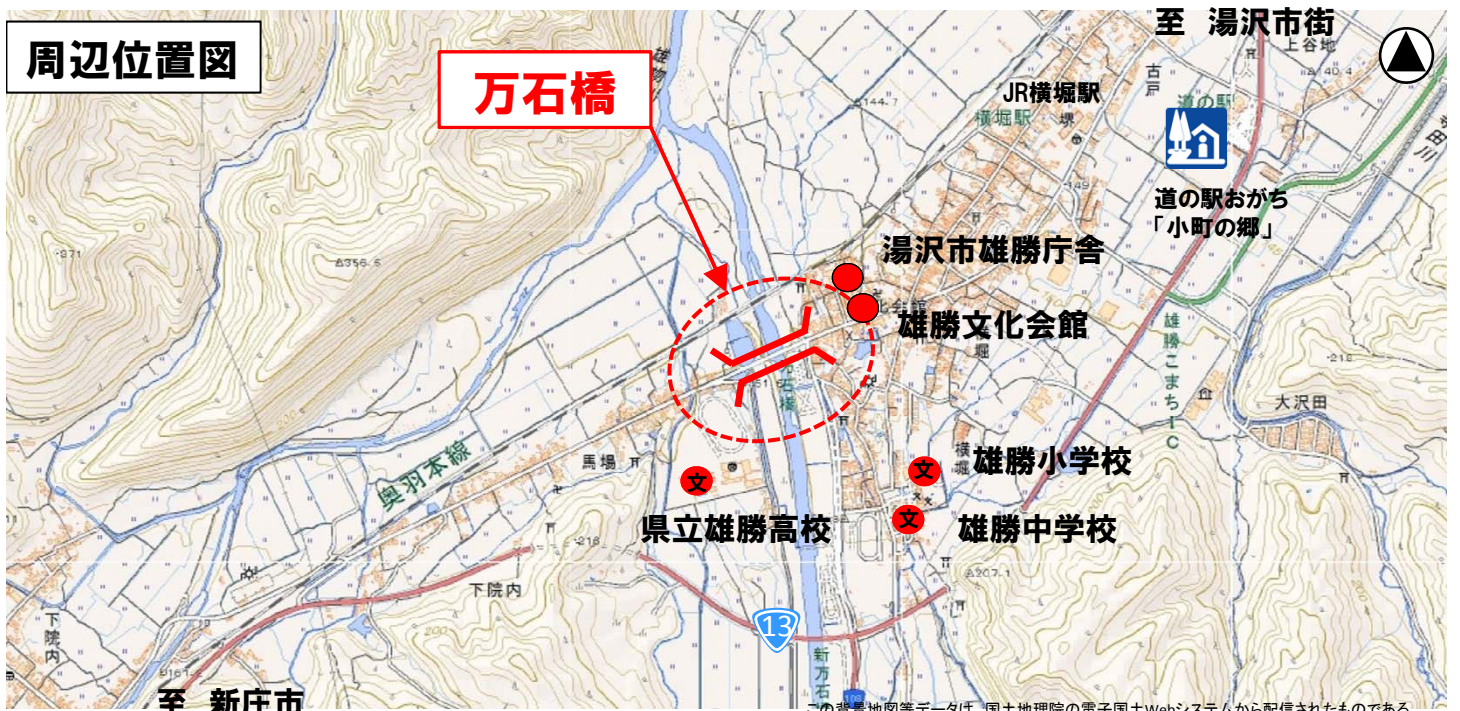
【側面】



〈万石橋諸元〉

建設年	昭和14年（1939年）
橋梁形式	RCゲルバー桁橋
橋長	170.5m
幅員	10.0m（内車道部6.0m）

周辺位置図



この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。

ばば こまちせん まんごばし
市道 馬場・小町線(万石橋) 路線の位置づけ 【別紙3】

【位置図】



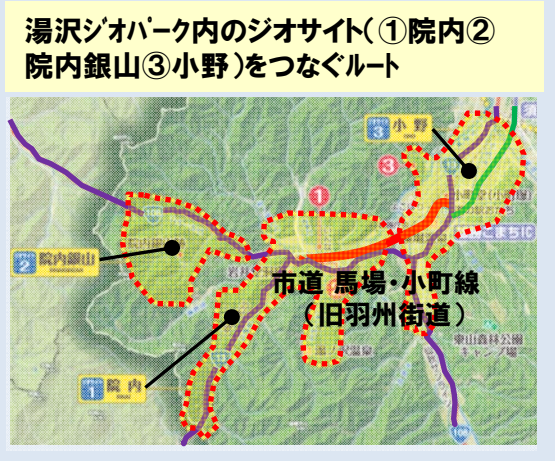
Copyright © NTT空間情報 All Rights Reserved.



↑ 雄勝小学校(避難所)



↑ 雄勝文化会館(公共施設)



◆市道 馬場・小町線は、湯沢市雄勝の中心部である横堀地区と下馬場・新馬場地域、院内地区を結ぶ重要な生活道路である。横堀地区には、生活拠点となる湯沢市雄勝総合支所、雄勝文化会館、郵便局等の公的施設、商店、個人病院、福祉施設などが立ち並ぶ。

◆JR横堀駅以南では、乗合タクシー（院内線・秋の宮線）が生活の足となっている。そのうち「院内線」は、市道 馬場・小町線を運行。

◆雄勝小学校、雄勝中学校、雄勝高校の通学路として万石橋を利用（雄勝高校～横堀駅の通学路）

◆沿道には防災拠点・避難所が点在し、「第三次緊急輸送道路」に指定され、国道13号が通行止めの場合に代替路となる。

◆①旧羽州街道（関所跡等）・②院内银山・③小野小町伝説にまつわる史跡（湯沢ジオパークのジオサイト）を巡るメインルートの一つ。